学校だより

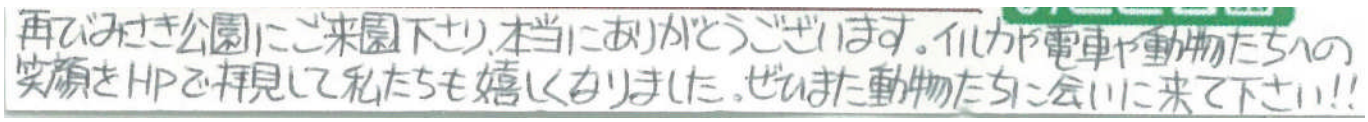
和歌山市立四箇郷小学校
平成３０（２０１８）年度：№４５
１１月号　文責／校長：上田　仁

公園からのおたより

職員室の机の上に何やら葉書が１枚。「見学や遠足に行った先からのいつものお礼のやつね」と、スルーしかけてよく見ると下の方の文字が目に入りました。大げさかもしれないですが、いわゆる『神対応』？

マスコミに取り上げられ、ネット上でも話題になって大盛況というのはよくあるパターン。けれどもこういったひと手間かけたことにも注目したいです。この公園がどんな仕組みでこのような心遣いをしているのでしょうか。組織として役割がある？戦略として計画している？それとも職員が自発的に？何れにせよこれを書いた方は、きっと自分の職場が大好きなんだなと思います。

ただ今、学校開放月間。いつでも来校していただいても結構ですが、１１月は特に告知して来てもらえるようにしています。当然、何も行事のない平日でもＯＫ。四箇郷小学校の普段の姿を、お子様が自然に生活している様子をご覧いただければ幸いです。学校が積極的に情報を発信するようになってずいぶんたちます。開放月間もまたしかり。校長がＨＰを更新するのも、学校便りを出すのもそういった理由からなのです。広い意味で考えると、おたよりやメール、



電話や連絡帳の内容も情報発信でしょう。ＨＰや学校便りのように、多数を対象に発信していくことも必要ですが、場合に応じて個別に発信することもまた大切でしょう。そしてそのことを通して、四箇郷の教職員（当然、校長も含む）が、この学校が大好きであることが、保護者の方に少しでも伝わると最高なんですが…。

公園からのお便りからいろんなことを教えられ、いろんなことが頭に浮かんだ次第です。

【裏面にも記事があります】